

出雲市のみなさんぜひお気軽にご参加ください

出雲市民フォーラム

島根大学病院の 最新治療 2023 夏

島根大学で行う腹部疾患の診断と治療 ～新たな試み～

健康維持にお役立て
いただくことを目的とした
フォーラムを開催
いたします。

入場
無料

テーマ
1

膵がんの早期診断と治療法

～島根大学を中心とした
関連医療機関との取り組み～

消化器内科
助教

福庭 暢彦



テーマ
2

肝臓病患者さんと 共に歩むために

肝臓内科
講師

飛田 博史



テーマ
3

大腸がん手術、ここまで できるようになりました!

～ロボット支援手術の実際～

ロボット支援手術
推進センター
副センター長
消化器外科
講師

山本 徹



開催日時 令和5年

8月20日(日) 13時30分～15時30分
(受付開始 13:00～)

会場 島根大学医学部 臨床小講堂

入場料 無料 定員 100名

申込方法 申込書に必要事項を記入の上、FAXでお申
込ください。メールや電話によるお申込みも受け付
けております。

申込先・お問合せ先 島根大学医学部総務課

主催 島根大学医学部附属病院

Access Map



- ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒など感染症対策にご協力ください。
- 発熱、咳などの症状、またその他体調不良の方はご来場をお控えください。

参加申込

Tel 0853-20-2019 Fax 0853-20-2025
✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

申込締切

8月16日(水)

- 土日祝日は休業日のため、お電話の対応はできかねます。休業中のお申込みはFAX・メールにてお願いいたします。
- 当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、事前の申込みにご協力ください。詳細は裏面にてご確認ください。

参加者 氏名	ふりがな	連絡先	電話番号またはメールアドレス
-----------	------	-----	----------------

※駐車場は附属病院駐車場をご利用ください。※ご提供いただきました個人情報は、本フォーラム以外には利用いたしません。

市民フォーラムについて —地域で完結する先進医療体制の構築—

当院は、「地域で完結する先進的医療体制の構築」を目指し、県内唯一の医育機関として、多くの医師を養成するとともに、高度で先進的な治療の開発と提供を心がけて参りました。このフォーラムを通じて、出雲市民の方々に「島根大学病院の最新治療」を知っていただき、皆様の健康維持にお役立てくだされば幸いに存じます。

島根大学医学部附属病院長 **椎名 浩昭**



講演会プログラム

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～ 病院長 挨拶

各25分講演+5分質疑応答

1 13:35～ 「**膵がんの早期診断と治療法** ～島根大学を中心とした関連医療機関との取り組み～」



消化器内科
助教 **福庭 暢彦**

膵がんと聞くとあまり良いイメージは持たれないかもしれません。そもそも膵臓がどのような臓器かわからない方もいらっしゃると思います。そんな膵臓にできる膵がんは、その解剖学的かつ腫瘍生物学的な特徴から治療が難しいがんの一つであり、早期がんの定義すら確立していません。しかし、近年、膵がんをできるだけ早期に診断する様々な方法が考案されています。当院では、近隣の医療機関と連携しつつ、これらの新たな診断技術を駆使して膵がんの早期発見に実績を上げています。また、手術が難しい方であっても、新規の治療薬によって治療の選択肢が広がっています。当科での膵がんに対する取り組みをご紹介します。

2 14:05～ 「**肝臓病患者さんと共に歩むために**」



肝臓内科
講師 **飛田 博史**

様々な肝臓病で多くの患者さんが通院あるいは入院をして治療を受けていらっしゃいます。代表的な肝臓病として、B型肝炎、C型肝炎、自己免疫性肝炎、アルコール性肝障害、非アルコール性脂肪性疾患があり、いずれも肝硬変や肝がんに行進する可能性がある病気です。2000年以降はB型肝炎が飲み薬でコントロールできるようになり、2014年以降はC型肝炎が飲み薬で治るようになりましたが、未だ肝炎ウイルスに感染していることを知らずに過ごしている人がいらっしゃいます。最近では、アルコール性肝障害と非アルコール性肝障害を背景とした肝硬変患者さんが増えています。肝臓病患者さんと共に歩むために、肝臓病の現状と肝硬変や肝がんに対する取り組みについてご紹介します。

3 14:35～ 「**大腸がん手術、ここまでできるようになりました!** ～ロボット支援手術の実際～」



ロボット支援手術推進センター 副センター長
消化器外科
講師 **山本 徹**

大腸がんは、罹患数(病気にかかっている数)が男性では1位、女性では2位と最も身近ながんの一つで、手術を必要とする患者さんも多くなります。手術は時代とともに開腹から腹腔鏡、そしてロボット支援手術とより精度が高く、患者さんに優しい手術へと移り変わってきています。当院では、直腸がんに対しては2017年から、結腸がんに対しては2023年からロボット支援手術を導入しています。現在、島根県においては、大腸全般にロボット支援手術が可能な施設は当院のみです。さらに、手術件数も、現在までに60件以上と積極的に実施しています。今回は、ロボット支援手術の実際について動画を交えてご紹介します。

※大腸＝結腸+直腸

- 15:05～ 全体質疑応答
- 15:30～ 病院長 閉会挨拶

会場案内

島根大学
医学部
臨床小講堂

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

お車の方は構内の駐車場をご利用ください。

